

校長あいさつ

秋田県立湯沢高等学校のHPにアクセスいただき、ありがとうございます。

本校は、遠くに雄勝野や雄物川、そして鳥海山を見渡せる自然豊かな愛宕の杜の一角に立地し、昭和18年、最後の旧制中学校として設立されました。その後、昭和23年の学制改革により県立湯沢南高等学校となり、昭和34年からは現在の県立湯沢高等学校と校名を変え、今年創立69年目を迎えます。この間、卒業生は、定時制課程も含めると、2万1千人を超え、県内はもとより国内外、各分野にわたり活躍をしております。そして今、その卒業生たちに、同窓会である愛宕会員として、あるいは後援会役員として、学校を支えていただいております。

現在本校は、1学年、普通科5クラス、理数科1クラスの計6クラスの編成ですが、1学年はくくり募集のため、普通・理数科で6クラス編成となっております。生徒は、素直で頑張れる子が多く、毎年、大多数の生徒が国立大学に進学をしております。今春は、北大、東北大、筑波大、横浜国立大、秋大医学部医学科などのほか、久しぶりに東大合格者もでました。

本校では、人間愛に溢れ、社会のために貢献できる有為な人材を育てることを目標にするとともに、建学のこころである『師弟共励』を、正に教師と生徒が実践し、「全県一生徒が伸びる学校、生徒を伸ばす学校」をモットーに、日々、教育活動に励んでおります。

一方、部活動も盛んで、昨年度はハンドボール男子と、陸上2種目でインターハイに出場し、水泳でも国体出場者がでました。また、文化部でも吹奏楽部と演劇部が東北大会に連続出場し、音楽部はこの春休み、全国大会に出場しました。

このような、恵まれた自然環境のもと、知・徳・体のバランスのとれた人間の育成を目指す本校に対しまして、今後とも、変わらぬご支援・ご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

平成24年4月

秋田県立湯沢高等学校長 古内 一樹